そうじの力だより

VOL.257

支援レポート

環境整備で大幅な生産性アップ
～何がベストなのかを自分たちで考える習慣がついた～

去る十一月六日、群馬県藤岡市にて、「第十二回そうじの力全国大会」を開催しました。これは、毎回、私が支援している会社から一社を選んでホスト役になっていただき、その会社の取り組みを、全国から集まった仲間たちが間近で見聞きするイベントです。

環境整備においては、取り組みの進んだ現場を見ることが一番勉強になることであり、一方、見られる方も、それに向けて一丸となって頑張ることができるので、有意義な機会なのです。

今回は、産業機械メーカーである㈱石井工機さんにホスト役をお願いし、全国から四二名の方にご参加いただいて、活気ある会となりました。



全国から42名の方にご参加いただき開催

三年半前に同社で環境整備をスタートさせた当初は、社内には物が山のように溢れ、まさに足の踏み場もない状態でした。

活動の初期には、各部署とも、不要なものを徹底して捨ててもらいました。それにより、広い空間が生まれ、作業性がぐんとアップしました。

電子部品をストックしていた回転棚は、中身がほぼなくなったので、棚ごと廃棄しました。稼働頻度の低かったバンドソーとシャーリングは、思い切って撤去しました。おかげで動線が広くなり、生まれた空間を別の用途で有効活用することもできるようになりました。



社内各所を社員さんたちの案内で見学

当初あちこちにバラバラに置かれていた工具類も、徹底して定位置化していきました。

さらに加工工場では、床や衝立、機械にこびりついていた油汚れを磨いて除去したことで、気持ちの良い清潔な環境ができました。

現場を案内してくれた社員さんたちは、「以前は手狭でストレスがあったが、今はストレスなく仕事ができる」「動線が確保でき、資材の搬入がしやすくなった」「どこに何があるのかが一目でわかるので、物を探すことがなくなった」「どこに何をどのように置くのが良いのかを常に考える意識が生まれた」などとコメントしてくれました。

当初、物を捨てることに抵抗があったという社員は、「思い切って捨ててみて、実際に物を探す時間がなくなったことを実感することで、徐々に抵抗がなくなってきた」と言っています。



細かいドリルの刃を自作の置場で定位置化

実際、私が訪問するたびに、各所のレイアウトが変わったり、工具置場をオリジナルで製作したりといった工夫が随所に見られるようになりました。

組み立て部署では、ボルトの在庫が少なくなった場合の発注をQRコードで行うアイデアが出ました。



部品の発注をQRコードで行う工夫

五面加工機という大きな切削機械の床面は切粉と切削油でギトギトだったのですが、ピカに磨き上げ、今後は受け皿を設けることで、清掃を楽にする計画です。

同社の業績も、売上が減少しても利益率が伸びるという堅実なものになっています。この七年間、ネガティブ離職者はゼロであり、人心が落ち着いています。

以下参加者アンケートの抜粋です。

〈必要に応じて棚を自作されるなど、自分達で必要なものを作る、工夫する点を見習わねばと感じます〉〈廃棄するものは日付を決めて在庫として残していて、誰が見ても分かりやすい〉〈習慣化し集中して社員の力を借りながら進めると、想像さえできない地点まで至るのだなと感じた〉〈社員の方が自信をもって変わって良くなったと言っている姿が、本当に働きやすくなったんだなと思った〉〈社長と社員の一体感がすばらしい〉〈空間が広くとても明るい印象で、皆さん「探す時間がなくなった」と言われていて、探すことのストレスもなくなることは効率も上がり良いと思った〉

同社の取り組みは、今後、さらなる進化が期待できます。（小早）



キレイになった五面加工機の床面

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。

このニュースレターは、転送、引用、大歓迎です！その際には、出典を明記していただけるとありがたいです。

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！

スタッフ大槻飛鳥の 飛鳥はミタ！
そうじの力20周年記念大感謝祭レポート

全国大会の後は会場を高崎に移動し、創業20周年を記念し、「そうじの力20周年記念大感謝祭」を開催致しました。

はじめに小早からご挨拶。「創業時は『そうじのやり方を教えることが仕事になるのか』と言われ、仕事もお金もなかった」こと、「それでもご縁をいただきながら、支援先が増えていき、良くなった会社が増え、そうじの力が全国規模になってきた」ことへの感謝と、今後地域ごとに切磋琢磨し合える環境を整えていきたいという展望を、述べさせていただきました。



創業時のエピソードを披露

乾杯の後は、創業からのムービーをバックに、食事と歓談の時間。皆さん発表の重圧から解放され(笑)、お酒と美味しい料理で、他社の方々をねぎらい、交流に花を咲かせていました。

お酒で場が温まったところで、お一人ずつコメントを発表。「最初はしんどかったです」「小早先生が来るのが恐怖でした(笑)」など、皆さんの本音や裏話が伺え、会場が共感や笑いに包まれました。


一言ずつコメントをいただきました

過去、複数社がホストとなり全国大会を開催した際には、宿泊を伴い懇親会を行ったこともあったのですが、近年は都市部に近い場所での開催が多かったため、終了後すぐにお帰りになる会社様も多く、このような長い時間の懇親会は久しぶり。私は改めて、「公式な場での発表」の後に「非公式な場で一緒に食事をすること」の良さを感じました。


会社を超えての交流

そうじで得られるものが「価値観の共有」であるならば、ともに食事をすることで得られるものは「感情の共有」ではないでしょうか。「自分たちだけではない。大変でも同じ気持ちの仲間がいる」と感じられることが、「これからも頑張ろう」という明日への背中を押してくれるように思います。

皆様の心の距離が縮まった、素敵な2時間でした。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！来年もお会いできますことを、楽しみにしています。（大槻）



ご参加ありがとうございました！

編集後記



異国の地で感無量



先日、学生時代の友人たちと台湾に旅行して来ました。ちょうど、娘が高雄に留学している最中なので、娘の激励訪問も兼ねての旅でした。

名物の火鍋を囲みましたが、娘に通訳してもらって、美味しく満腹になりました。娘を頼もしく思いました。

気の置けない友人たちと一緒に、娘の留学先を訪ねることができたこの旅は、私にとって長く心に残る宝物になりそうです。（小早）

飛鳥のつぶやき



やせがまん

朝方吐く息が白くなりつつあるこの頃ですが、長男は未だクラスで一人だけ、せっせと半袖半ズボンで登校しています(^q^)。



どうやら本人の中では、どこまで限界まで寒さに耐えられるか、見えない何かと戦っているようです。ザ・小学生ですね。

次男ももちろん長男の真似をするので、私は冬服を買ってあげない母ちゃんみたいになっていますが、いつまでチャレンジするのか生暖かい目で見守りたいと思います…(でも見てるだけで寒い！笑)。（大槻）

株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

現場巡回、実習、講義、チームミーティング、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。（全国対応）

そうじの力だより第256号　2026(令和8)年12月1日発行　発行者：小早 祥一郎（株式会社そうじの力 代表取締役）
〒370-0078 群馬県高崎市上小鳥町307-1 TEL：050-3709-2333 FAX：050-6868-2721 メール：info@soujinochikara.com

このニュースレターは、転送、引用、大歓迎です！その際には、出典を明記していただけるとありがたいです。